

ヒメタチヒラゴケ

Homaliadelphus targionianus
(Mitt.) Dix. et P.Vard.
var. *rotundatus* Nog.

ヒラゴケ科
Neckeraceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 I

選定理由 本州から九州に分布する。本県では生育地が少ない。谷部の森林の伐採や乾燥など環境の変化により生育状態の悪化が懸念される。

県内分布 石灰岩地域

分布域 本州, 四国, 九州
台湾

生育環境 低地のやや湿度のある石灰岩。

現 状 森林内で湿度のある谷部に生育するが, 生育地が減少している。

備 考 基準標本産地 [野津町川登]

セイナンヒラゴケ

Neckeropsis calcicola Nog.

ヒラゴケ科
Neckeraceae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 準

選定理由 日本固有種で本州から沖縄の石灰岩地域に生育する。本県では石灰岩地域の他に火成岩地域の耶馬溪地区にも生育している。森林の伐採や林道開発などにより生育状態の悪化が懸念される。

県内分布 耶馬溪地区, 石灰岩地域

分布域 本州, 四国, 九州, 沖縄

生育環境 丘陵地の日陰で湿り気のある石灰岩。

現 状 「耶馬溪地区」及び「石灰岩地域」では, 生育環境が不安定で生育地が減少している。

トサヒラゴケ

Neckeropsis obtusata
(Mont.) Fleisch.

ヒラゴケ科
Neckeraceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 関東地方以西の西日本に分布する。本県では生育地が少ない。渓谷沿いの森林の伐採や自然災害などによる着生木の損失で, 絶滅の危険性が高い。

県内分布 耶馬溪地区, 豊後水道後背地域, 大野川上流域

分布域 本州(関東地方以西), 四国, 九州, 沖縄
中国, 台湾, インドシナ半島

生育環境 渓谷の樹幹や岩上。

現 状 渓谷の流水近くや滝の霧がかかるような樹幹に着生している。生育地では生育している量は少ない。着生木の損失のおそれがある。